136
50
197

官刻

孝義録

安藝下 用防 長門

三十八

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

官刻

孝義録

安藝下
長門
周防

井八

136
50
197

東京圖書館

和書門	傳記類	七函	八架	一二八號	五冊

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

由緒局藏

孝義録巻之三十八

安藝國下

孝行者 元助

TOKIO LIBR
DIED
MOKUSHO ISSA

明治九年文部省交付

元助ハ廣島乃城下竹屋町の借屋ニて笑乞ニ
ひて年老たる母を養ふ母疾病の
くるしミを元助孝心神ニ
醫療をつくしも依伯耆水内郡和田村乃温泉ニ
治せんとて父に事を
用ゐ老たる母ハ元助つれ従ふ人のも
ゆくにまかせ八月廿日ニ

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

乃ち工を集めあらゆる道けを調へあらゆる
なの熟なる次よりあらゆる湯口へつゞき初毎
にそこに湯あふれ出ることを旅人やそうやするおれも一しほ
心をそゝぎて側をそゝぎおとすことを怠らず夜昼
の隔乃定めなくそこに異ることなく毎にそこも
ゆ胡夕の賑ふ家ゆあふれ~湖のごとくに調~ふろ給
仕~あるをあけもすることなく夜抱してゆる安かる事を
ふるを同しきを湯のとにゆることに動~まく又及びく
感~あくふろ病を癒すの温泉の効あつて病を癒そ
金をもきそ決廣婚より川を渡へ一事にうく人吏あ

まつ雇ひ~ゆる女人男女老若とそゝそゝそゝる窮
民を養ひく賃銭をあふるゆるゆるゆるゆるゆるゆるゆる
のもうち吏をあるをうらくゆる処貸銭をうけしよ危脆
日ゆるうち人吏に出そゝそゝ私に貸銭を一銭とゆくをも己ら用を
ゆさ次日ゆる父母あるくそゝそゝそゝそゝそゝそゝそゝそゝ
寛政二年九月領主ゆる褒美として銀そゝそゝそゝそゝ
らそゝそゝそゝ時よ先助十四歳なる見

孝行者なよ

おさよ尺廣婚の婦下行屋町乃借屋よりする良助ゝ婦
なり父をよ病をよくく田中金左衛門とゆるものゝ

しう浪人の男やうにて代町まちを
実母久孝と申ものを始
を設へて親と共に養ひ
やくまふをうしに父母
やくそくにて父母
ようほれあつて妻
男は
事一日も怠りなく
多く振いくしと母ふ
母はそくうちも男よ
く娘よりて
きこらんよう
あおそんはゆう
政元寿正月母七十
骨とくり小例をそ
病ひぬ度よりそれ
つ為次百日うかと

[illegible]
[illegible]
[illegible]

祖母孔雀をそだてんことをねがひ母乃病
ありし後もち給ふことつとめまことに
少しもおこたることなくよく看病
つくしまことに孝行の志ふかきもの
なりやうやうつくしきころ祖母乃孝行をよろこ
ばるることなかりし更はてこのとく家よりをるゝ
ものもなく人目をしのぶくるしさも始乃ほどは
ありしかど其年は祖母乃病ひ日にまし
く姑の常ならぬ事をゆひつゝけ
て発るゝことおほかれど人目をしのぶくるしさも
浄なるものゝごとくこゝろ
そく朝夕孔食をゝくり乳房のうるおひまく
さ湯くみ其外何事もこゝろを
尽くしかひなく祖母乃病ひ日にまし
ありし更はてこのとく家よりをるゝ
ものもなく

孝義録巻三十八　六

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

奇特者源右馬

風俗宜者惣百姓

源右馬八沼田郡下牧村の組頭なり先祖より之を同村
百姓共に申合組改を法とし家数八十軒あ
まりの人数を皆三十人ずつ五組に分け古風なる
農事仕組を守り一つ組よりは外の村へ
嫁娶せず一事をも他村へ出さず此一ツの
外古風を守りて他風俗を
とかる人物と賞美なして組合のうち睦しく
和合せざる時は其人数を多く
嫁娶せず一事をも他村へ出さず此一ツの
又古風を守りて他風俗を
世中多く驕を尽す片田舎の
しき百姓とやもすれば分限をも
古風俗を美とし決して
風を改め驕り奢る事なく
七月領主より賞として勝代

せけて父を墓右衛つこうひ祖父と又源七馬つこうも
又三郎六右衛つ長右衛馬つとくこ六人の
何れもうちて兄乃二人八別家をせ男共墓右馬
してな家をつせ〜もうくれるまくこと兄男おとうて
も心くう私乃公をそろまし〜きひ
うは医貢を納むることを半馬を求むるもとひそうて
も其事をとる馬二人ともに妻をもうちし男姑よう法
久比派右馬つう死せ妹をを兄男
し父乃死後ることをもうち母あをよくつ久れ
も享保元年三月兄男のうれ

孝義録巻三十八

奥州

孝行者 新助

新助ハ宮城郡の塩下六町目村住百姓ニて父母ニ
孝行の心深く高き貧ニ可部町在村乃ものなるゆ此町ニ
て商ひをなし銀をもて父母のもとニ送り
又私用乃為ニ業の細工しことを
病あることくて驚きこと医薬のもよ
んををせ〜うとくうせし
ひさまつよ来ると食しに孝養ハく日備よ
消まる男姪をとうて母ハ側ニ

もて取扱ひ、あくる年の春に至りて、
加里家なるおとゝ長吉背わたひとく、
暑さ烈敷夜も冬は衣乃うへに
うすきをきて寒をしのぎ、
先ゝも如此今年九十にあまるまで、
うまれしのちこのかた一人として
改心の事なく、尽く至りの褒美、
特り新助六十八とぞ、

孝行者新之助

新之助ハ安藝郡蒲刈領うそ高まち、一年さき

もて取扱ひ新七うみなり新七は廿十八歳にて病も
多く母は卅二歳にあり十歳と八歳なる妹をあハ
せて五人を養ひ七年あのうち母ハ病死家
業ハ勿論にて二まおとりもなふ新七も取扱ふ
まゝをしすゝめあゆくも秋をいまことあること
いとあつもなきあつく二人の妹をいまことあること
病さへあり、けまを薪まうる業をもつとめ新
七ハ日傭なとをおて家内
乃者を養ひあつくして孝義を失ひ
まは父母の忌服をさとり食をうかとうる二夜の間も

少しつゝもく着病〳〵日ころに物
もは山野ゟ立出迄ゟ先ゟ舎〳〵父母ゟ目ゟ免ゟ
時ゟ立ゟと妹ゟひとゟ兄ゟ
目ゟ事ゟく心ゟり薪ゟり出ゟとゟも家乃あゟう
とゟる時ゟ父母ゟ安ゟ
湯屋ゟに妹ゟ
う粉ゟ重〳〵烟草まで吸つけゟく免行くゟ
心ゟとゟくゟと童ゟ山畑の働ゟ
こゟつのまゟ屋ゟくいぬる事ゟくいとゟむゟと父母ゟ
母に兄ゟくゟき家もゟま湯ゟ
結ひつけゟりのを着て山畑ゟと出ゟ
病弱なゟも永ゟ
妹ゟく肌ゟ
妹ゟ父母ゟ兄ゟ
くゟとて中ゟゟ
に乞ゟも私ゟゟく父母に
りのあれゟ父母乃ゟ兄の
あゟとゟゟく兄ゟく妹ゟも
とゟく父母ゟ心屋ゟ
く童ゟゟ
こ憂とゟゟ

山野まそちいくあるを海をもちいくおくる
日もはるまてふるひはをそうて家うゑ迷ひそ
ふ能乃稼のおろかに面を曳れそるく父母の衣食
せうを村老そ多く感しくやそひ〳〵貧残の幼孩
をいたくてそ洗濯をとりて〳〵ほうを紀浦の老
をわ免ことこと〳〵はあうう領主よりて寛政二年
二月褒美の米五そ俵あたふ

孝行者長九郎

長九郎ハ高来郡上条村百姓高八石三斗あまりの
家なるに十年あまり前より長九郎を隣村なる
伯母の家へ養子とやりたるに養父源三郎七十八歳
にて跡もなく病死しぬるよりして未の娘
農業乃事までも源三郎うりひをれてしむまの
秋の刈おさむる時よりて雨もひそるをを
父乃刈ことゝ久そをもまよはうせつ果て雨あ
出てあるくうちこゝ久そもひそるる
ゆくへかくへの百姓えをひてはた大雨よ稲をとるは
父乃をとゝくそひうさをるへくそくそれ孝なを

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

感心なる父治を好こう農事北帳なるのそ
二十町もいるころ人可歎町よりの終く求めかくころ雨
始つくころく為出んもあるころ打て二三日ともむ
ころ料をもくくくをけるもあるもあれい
最中をもく二役の用よ記出ころ長九帝至のう
ち北山姓乃筆ま疲をころうこいくとこと私ほくま
ねくつころひとすけいめまて会をおひとの
名何まるをまちく外ちくに源二帝もいめそうく
長九帝う自我ころ小記出るるとあ
まとまるう若の生もうるまを次立歩る生音のこれま

自ころ海盛をまつこれいつまやいうもかくそくる
源二帝も始くく後ひ友う於人うあくとく長九帝う
まち先やう飛るをころう風えき名九帝う養ち文孝
公ふくて事あるこ二人乃ま
うちく食物なと心をつもくあつうひう寛政三年
父を永のるまち我のこ事とせころ二十年の時あや
為領主ようと褒美うこうあ

孝行者よろ

志よろ依伯郡巌酒小浦の者三帝う娘なり
病ちして男を儲めう病北男となるうころ家貧く

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

いう程の娘若と雖ともとても父母の病を除さ
るはをそろしふかも屋すまりぬへくたゝひあやしき事も
聞ゝたゝとも痛ともとゝもやめりくとさゝやく
注ゐをも父母をも志よろう孝心を感してう律收ひろう
嘆てともに涙を流せくとをふ乃ち漸ヶ暁なり
るとまけハ叔ほよう拳伏美しくくく父母よりもとゝ
のゝ城邊よゆさゝの員をほりとうう孝終をハ又夕よ出て
見をとり日志とゝ小城をよ物るよう事をゝ日とゝくとも
かくるまの〳〵出入とゝよ必父母の乳哺をとゝふ父乃ち兒
病よつゐをも発ゆとゝくく倦さゝ座〳〵めるをなけさ

貝うりにとゝの出るをゝとゝよ琉球芋又を給の数ゝと発ゆり
みとうふをゝ雲母てくくせ〳〵うは父をゝ孔ゆりをまちえく
收ひろゝ市中北の私もかをゝうは孝心の深さ感ゝ様ゝをよ
ろう貝をゝ賣来るとのゝ物それをゝ私ゐうゝ高もをうり
しに市人へつまよ給乃数ゝとあるゝ收ひくゝゝつ
くせるゝ父の為北痛ほうくく夜をゝ寝ゝ孔ゝとゝ
若うゝと母北年老くゝ收抱もゐ一
人ゝの抱ゝかゝへ夜もやゝくいめるゝ年ゝ天明二年
七十二年にく終ふうをぬ志よろう初うゝようゝ四十年
ゐまりゝ娘若をゝゝ醫業の料充格の葬を俗苔北

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

事ありて遠く他人をつかはすとても其時乃
費用をあらん人ごとく與うまた價二三錢にてまくもの
並一ことを扱を母一人よりうしうと称を乗乃事
につかうもの母は八十二歳老よりの五十四歳まで
て養うこともほとくる哥もなく父母の孝養ふのこんと
せりと町乃うち私公役人吏乃
なりつうこう父死せ一後八九年たのうこと祖改をおた
うとて志よろう家ハ男子をたなく女乃ミ何まで老
母を養ふまれいもまくく公役とあつへきものうりも
あう絵を業をんといひみ町の老を日ひこそれ

ときに代をうりされとも吏役多き時と世ううる業成や
ふそ吏役うり出一家北内の雑用もありとやとく町のうち
をめくうこと多人通比隣のうちにてすうるうりおく中よき
そうもあ負うことありくうまうを銀あくくうるをしに
志よろう同しく銀をうあ一まつ母につけ父の位牌
ふそうの人社民を称酒をさはけくのうち母よのまくめを私
銀乃うちを以て米綿をうひあうたる衣物入て母う
さ老を餘ておさ先を亜うるをもう衣ハをと衆りあやを
母乃ひよ親族とくもおうるを老ともおうる時をくり人を
ふ母母の病をとあうん時乃うをるんとうをめん

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

それそこつゝれ衣服ハなくてそうめんこと
ひそ於ゝて諸人手ほそこくて感しけ寛政三年
六月領主よゝ褒美しそ多銀をあそこくしゝ

忠義者孝助

孝助ハ佐伯郡大野村乃
巌徳天町なる廣徳屋孫右
衛門ゝ奥実ゝ於ゝ出ゝ家ゝ因のゝ於も慎ゝ
於ゝしゝ孫右衛門ハ銀座なゝ
多くゝゝつゝひ業ゝ及て漆物をあそひるとゝ於ゝ
乃ゝ於ゝ事ゝそ多きゝゝ於ゝ才助一人う

け給りて朝ゝまゝこゝろそ小ゝそ夜ゝいゝまくいゝ
ふるゝなくゝ品物を出ゝいゝ於ゝまゝこゝろ於ゝいつくゝ
ゝ乃業ゝそゝ衆ゝそゝ孫右衛門ゝ腰ゝそゝそう是ゝ
なゝこゝ當乃ゝ於ゝ衆ゝそゝ後ゝいつゝそゝ
ゝひ於ゝうくゝ人ゝそゝ於ゝひくゝ
年乃ゝそゝ定めそゝそゝ於ゝ三年
ゝ衆ゝそゝ不如ゝ妻ゝそるゝ於ゝ
ゝりゝ於ゝ孫右衛門ゝ時ゝそゝ引ほくゝつゝそうし
に今の孫右衛門ゝ病ゝ於ゝて三年ゝ於ゝ脳ゝそゝ
しゝそ家業ゝ於ゝまくゝ更婦しゝ於ゝ衣抱せゝう妻にゝ

いそこく後を奉たもるうけ是ハ妻は姉をそう
助を牲勤めとうしう同町ふをそろう音田登十右衛門う者
子ともとて妻ことなくなりとよすをを一生にうるも
乃給銀ろうもうせつけ是ハ妻ハ人の継
姉代く或ハ姑をそれまとしこと孫右衛門うりとり風ア
まそれた小児を背人ゆえくそれ業をとをすをくこと
家産やうくよ傾こそよ安人数のものも多くは
ろくつひうことをもて半助をうけをうしよ
給銀ろ人あくめとう代まのやうよ仕くう孫右衛門
病をうくゆ人周旋とうくるを告ふにしも九ヶ年おまで

なくおうぬ病乃うちの妙抱を大うこおら次孫右衛門う
せふ病をそれ妻うこひよ妹養子ル周旋とよてや海
しく人困窮せうう周旋ハ米銀ありうもおゆ兄寡婦ハ病
多く職業もなくうこれハ半助更物おりこちく家を
はくうこ人のもをうれくをうふもれを告ふせ
しうもも又一二年毎うく出ゆうこもれもまもりく貧
苦ふをはうしく孫右衛門う世うまくはう家も貧な
入うをくく年ふ利息もをうを償もおりうく家は
銀をう妻しうもう屋りもれも姉も覚政元年九七月
うこおくをれ半助うりふ追くう男ふ

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

二十八年にもなりて四年めの冬こゝろ
年ごろこゝろを改め乃稼ぎを倍増おこたりなくよ
月と送りしかば寡婦八病の身なれバ行くれと
服薬ふんとつくせり寡婦のこゝろ
醫者あり奴ありて義絶〳〵訴うるよ事もあろう
とす助更奴ら兄弟に先立多く婦妹ともよ患者も
おくるゆとくに告ひまう才助いとみするとこゝろ
病死やうやうつく主人の家産破滅
先祖の年忌まう多もうかと尓〳〵
乃うちものとて感〳〵あくう同紀三庚六月領主よ

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

周防國

百姓

農業出精　毛利右兵衛督領分　都濃郡富田之村　町人

孝行者　同領　都濃郡飛上佐村之内徳山村　町人

奇特者　同領　都濃郡飛上佐村之内徳山村　町人

孝行者　同領　都濃郡飛上佐村之内徳山村　町人

孝行者　同領　都濃郡飛上佐村之内徳山村　町人

孝行者　同領　同所　町人

孝行者　同領　都濃郡矢地村枝郷福川村　町人若干妻

若次郎　歳不知　享保九年　褒美

万右衛門　歳不知　延享元年　褒美

市兵衛　歳不知　延享元年　褒美

孝吉　歳不知　明和五年　褒美

孝市　四十九歳　天明七年　褒美

与右衛門　四十七歳　同時　褒美

佐や　三十三歳　天明七年　褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

孝行者　同　領　越波郡富田之村　百姓権左衛門下男　市右衛門　四十二歳　天明七年褒美

忠義者　同　領　越波郡山田村　百姓　きよ　四十四歳　天明七年褒美

孝行者　松平義三郎領分　越波郡須久万村　百姓　市右衛門　三十七歳　正徳五年褒美

農業出精　同　領　佐波郡中倉地村内畠山村　百姓　檀七　三十一歳　享保二年褒美

奇特者　同　領　大浦郡久賀村　町人中婦女　新九郎　三十五歳　享保五年褒美

奇特者　同　領　佐波郡三田尻村　町人　新右衛門　二十八歳　享保七年褒美

奇特者　同　領　吉浦郡宇津令村枝之山口村　町人　安部平右衛門　四十九歳　享保十八年褒美

奇特者　同　領　吉浦郡宇津令村枝之山口村　町人　河村儀右衛門　二十八歳　享保十八年褒美

奇特者　同　領　吉浦郡宇津令村枝之山口村　町人　岡源左衛門　四十六歳　享保十八年褒美

奇特者　同　領　吉浦郡宇津令村枝之山口村　町人　宗蔵左衛門　三十一歳　享保十八年褒美

奇特者　同　領　吉浦郡宇津令村枝之山口村　町人母後座　久右衛門　歳不知　享保十八年褒美

奇特者　同　領　吉浦郡宇津令村枝之山口村　町人　富田市左衛門　歳不知　享保十八年褒美

奇特者　同　領　吉浦郡仁保左村　百姓　新右衛門　二十三歳　享保十八年褒美

孝行者　同　領　佐波郡三田尻村　百姓並助娘　くら　二十三歳　享保九年褒美

孝行者　同　領　玖珂郡宇佐村　百姓　市左衛門　五十歳　元文二年褒美

孝行者　同　領　同　町人　吉助　四十三歳　同時褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

孝行者　日傾　玖珂郡山代本郷村　百姓　いち　十八歳　元文二年褒美
孝行者　日傾　玖珂郡源川村　町人　幾人　四十一歳　元文五年褒美
孝行者　日傾　吉浦郡宇佐令村枝郷仁保村　百姓六左衛門娘　正右衛門妻　伊左衛門娘　五十歳不知　元文五年褒美
孝行者　日傾　玖珂郡山代本郷村　百姓　くら　三十四歳　寛保二年褒美
孝行者　日傾　玖珂郡山代本郷村枝郷伏越村　百姓　伊右衛門　四十一歳　寛保二年褒美
孝行者　日傾　日所傾　百姓　かん　三十八歳　日時褒美
孝行者　日傾　大嶋郡屋代庄村　百姓　長右衛門　十五歳　寛保二年褒美
孝行者　日傾　佐波郡三田尻村　壱田百姓　七右衛門　歳不知　寛保二年褒美

孝行者　日傾　佐波郡上徳地村之内茅元村　百姓　孫七　四十三歳　寛保二年褒美
孝行者　日傾　大嶋郡安下庄村　社人　長尾敦員　四十七歳　寛保三年褒美
奇特者　日傾　大嶋郡大畠村遠俗　百姓　弥右衛門　五十二歳　寛保三年叅
孝行者　日傾　玖珂郡山代本郷村　壱田百姓甚八妻　いち　歳不知　延享元年褒美
奇特者　日傾　吉浦郡恒富村　百姓　作右衛門　四十七歳　延享二年褒美
孝行者　日傾　玖珂郡山代本郷村　百姓七右衛門娘　くら　歳不知　延享四年褒美
孝行者　日傾　吉浦郡宇佐令村枝郷山口村　町人　雅波左右　歳不知　延享四年褒美
孝行者　日傾　吉浦郡宇佐令村枝郷山口村　町人　助右衛門　四十歳　延享四年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　同領　吉浦邨小那村　百姓　庄次郎娘　ヨよ　歳不知　寛延二酉年　寛延二年褒美

孝行者　同領　佐波郡牟礼村　百姓　平之允　五十八歳　寛延二年褒美

孝行者　同領　同所　百姓　八郎右衛門　五十歳　平之允実父　同時褒美

農業出精　同領　佐波郡上植地村枝郷柚木村　百姓　権右衛門　三十一歳　寛延三年褒美

孝行者　同領　吉浦邨宇乗谷村枝郷山口村　町人　平六　歳不知　寛保元年褒美

奇特者　同領　佐波郡上植地村　百姓　喜七　二十九歳　寛暦八年褒美

孝行者　同領　佐波郡三田尻村　町人孫左衛門娘　とな　歳不知　寛暦九年褒美

奇特者　同領　玖珂郡三濃川村之内徳地村　百姓　与四郎　二十二歳　寛暦十三年褒美

奇特者　同領　奥屋敷庚合庄村　医者　志熊雲仙　八十七歳　寛暦十三年褒美

孝行者　同領　玖珂郡廣瀬村之内畑倉村　百姓　森右衛門　四十二歳　明和七年褒美

孝行者　同領　佐波郡佐波令村　百姓　せん　二十九歳　安永八年褒美

孝行者　同領　佐波郡佐波令村　百姓　源左衛門　五十二歳　安永八年褒美

孝行者　同領　同所　源左衛門妻　さの　四十二歳　同時褒美

孝行者　同領　吉浦郡宇乗谷村枝郷山口村　町人　安永義七　四十二歳　安永九年褒美

孝行者　同領　吉浦郡小那村　百姓長之允後家　か　四十二歳　天明四年褒美

奇特者　同領　大畠郡安下庄村　百姓　清右衛門　四十六歳　天明五年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

孝行者　　日傾　佐波郡佐波今村　百姓　　二十三

孝行者　　日傾　那波郡中須村　百姓　　三十四歳　天明七年褒美

孝行者　　日傾　勢多郡光井村　百姓　　四十五歳　寛政二年褒美

孝行者　　日傾　勢多郡宝積村　百姓　　四十八歳　寛政二年褒美

孝行者　　日傾　勢多郡宝積村　百姓　　四十三歳　寛政二年褒美

孝行者　　日傾　勢多郡東荊村　百姓　　二十二歳　寛政二年褒美

孝行者　　日傾　佐波郡三田尻村　百姓　　三十九歳　寛政二年褒美

奇特者　　日傾　吉浦郡仁保庄村　百姓長十郎妻　五十歳　寛政二年褒美

孝行者　　日傾　玖珂郡三蔵川村之内椛越村　百姓久左衛門娘　　二十五歳　寛政三年褒美

孝行者　　日傾　郡須中須村　百姓　　四十六歳　寛政三年褒美

孝行者　　日傾　勢多郡宝積村　百姓　　三十三歳　寛政四年褒美

孝行者　　日傾　吉浦郡仁保庄村之内沖野村　百姓　　四十五歳　寛政四年褒美

孝行者　　日傾　所　百姓　　三十二歳　享保元年褒美

孝行者　　日傾家来玄門笠物給玖珂郡岩国村之内綿見村　百姓　　三十三歳　享保十八年褒美

孝行者　　日傾日給玖珂郡岩国村之内綿見村　百姓　　四十五歳　元文三年褒美

孝行者　　日傾日給玖珂郡関渕村　百姓

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　町領　町給　玖珂郡岩国村弥兵衛町　町人和吉改　利吉儀　元文五年　褒美　六十四歳

孝行者　町領　町給　玖珂郡由宇々村　百姓　巻右衛門　三十二歳　近年　元年　褒美

奇特者　町領　町給　玖珂郡岩国村弥兵衛町　町人義作改　五右衛門　歳不知　寛暦八年　褒美

孝行者　町領　町給　玖珂郡藤生村ゟ内小畑村　百姓　市右衛門　三十七歳　寛暦八年　褒美

孝行者　町領　町給　玖珂郡岩国村弥兵衛町　町人源治　みや　三十六歳　寛暦九年　褒美

孝行者　町領　町給　玖珂郡藤生村ゟ内日宛村　百姓　吉助娘　ゑさ　四十二歳　寛暦十年　褒美

兄弟睦者　町領　町給　玖珂郡岩国村弥兵衛町　百姓　甚右衛門　三十七歳　寛暦八年　褒美

孝行者　町領　町給　玖珂郡岩国村ゟ内門前村　百姓　作右衛門　歳不知　明和三年　褒美

忠義者　町領　町給　玖珂郡岩国村今津町　町人権左　権左衛門　六十五歳　安永五年　褒美

孝行者　町領　町給　玖珂郡岩国村ゟ内吉ヶ本村　百姓　伊右衛門　三十九歳　天明八年　褒美

奇特者　町領　町給　玖珂郡尾津村　百姓ゟ弟之養後家　あさ　五十八歳　天明八年　褒美

奇特者　町領　町給　玖珂郡通津村　百姓　久作　四十二歳　天明八年　褒美

家内睦者　町領　町給　玖珂郡岩国村ゟ内保津村　百姓　源次郎　三十二歳　寛政元年　褒美

孝行者　町領　町給　玖珂郡ゟ内天尾村吉右衛門　百姓　熊松　三十二歳　寛政元年　褒美

孝行者　町領　町給　玖珂郡楊井庄村　百姓　次郎右衛門　四十歳　寛政元年　褒美

兄弟睦者　町領　町給　玖珂郡ゟ内西村牧之内　百姓　ふみ　三十九歳　寛政元年　褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

孝行者

日傾日給
玖珂郡岩国村徳見玖珂町

町人 羽織屋 **義右衛門** 三十八歳 寛政二年褒美

孝行者

日傾日給
玖珂郡玖珂本々村

町人 仁右衛門 四十三歳 寛政二年褒美

孝行者

日傾日給
玖珂郡玖珂本々村柳井田

百姓 **仁右衛門** 四十六歳 寛政二年褒美

奇特者

日傾日給
大島郡大畠村

町人 引田屋 **亀松** 年四十歳 寛政二年褒美

長門国

孝行者

松平義一郎領分
大津郡深川浦村

百姓 **若右衛門** 五十二歳 寛永五年褒美

孝行者

日傾
萩城下西田町

町人 **田中五郎八** 歳不知 正徳三年褒美

孝行者

日傾
阿武郡三見之村

百姓 **三右衛門** 三十四歳 正徳五年褒美

孝行者

日傾
大津郡深川浦村

百姓 **平右衛門** 歳不知 正徳五年褒美

孝行者

日傾
阿武郡椿之村枝之明木村

百姓 **や川** 三十六歳 享保三年褒美

孝行者

日傾
萩城下西田町

町人 **増田市郎兵衛** 歳不知 享保五年褒美

孝行者

日傾
萩城下深川浦

吉田百姓 **十郎兵衛** 歳不知 享保五年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

孝行者　同領　萩城下浜侍浦　享保六年褒美　町人　二十五
孝行者　同領　萩城下西田町　享保七年褒美　町人　寺尾作右衛門　歳不知　百姓
孝行者　同領　萩城下古萩町　享保八年褒美　町人　寺尾作右衛門　二十二歳　百姓
孝行者　同領　萩城下古魚店町　享保十年褒美　町人　山岡作右衛門　歳不知　百姓
孝行者　同領　萩城下平安古町　享保十年褒美　町人　真七　四十二歳　百姓
孝行者　同領　萩城下浜侍新町　享保十四年褒美　町人　作右衛門　歳不知　百姓
奇特者　同領　美祢郡石村　享保十四年褒美　百姓　九市　五十歳　百姓
孝行者　同領　見島　享保十四年褒美　百姓　勘右衛門　歳不知　百姓

孝行者　同領　萩城下橋本町　享保七年褒美　町人　大谷孫左衛門　歳不知　町人
孝行者　同領　阿武郡宇多村　享保七年褒美　百姓　伊右衛門　歳不知　百姓
孝行者　同領　萩城下堀内町　享保十八年褒美　町人　山崎長助　歳不知　町人
孝行者　同領　萩城下魚屋須町　享保十九年褒美　町人　原太郎右衛門　十五歳　町人
孝行者　同領　大津郡青海浦通浦　享保九年褒美　百姓　四郎兵衛　四十三歳　百姓
孝行者　同領　大津郡青海浦通浦　享保九年褒美　百姓　武助　四十四歳　百姓
孝行者　同領　美祢郡大岳村　享保二十年褒美　百姓　六三郎　三十五歳　百姓
孝行者　同領　美祢郡伊佐村　享保二十年褒美　百姓　権平　四十歳　百姓

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　同領　荻野町下古荻町
奇特者　同領　笑称寺村
孝行者　同領　栗須右見村
奇特者　同領　笑称寺村
孝行者　同領　荻野町下椿町
孝行者　同領　荻野町下上五間町
孝行者　同領　荻野町下上五間町
孝行者　同領　荻野町下津守町

町人竹村弥左衛門妻　きく　歳不知　元文三年褒美
百姓　吉右衛門　六十二歳　元文三年褒美
百姓五郎左衛門養子娘　なん　歳不知　元文四年褒美
百姓　喜右衛門　四十六歳　元文五年褒美
町人甥養育之百姓娘　せき　歳不知　寛保元年褒美
町人　竹内長右衛門　歳不知　寛保二年褒美
町人　吉村安右衛門　歳不知　寛保二年褒美
町人林四郎作忰嫁　すめ　歳不知　寛保二年褒美

孝行者　同領　荻野町下平安古町
孝行者　同領　荻野町下吉原町
孝行者　同領　荻野町下御許町
孝行者　同領　荻野町下濱崎浦
孝行者　同領　荻野町下濱崎新町
奇特者　同領　荻野町下下五間町
孝行者　同領　荻野町下東田町
孝行者　同領　阿武郡椿名村

町人八百屋又左衛門養娘　ちよ　歳不知　寛保二年褒美
町人　野村安右衛門　歳不知　寛保二年褒美
町人　足立文六　歳不知　寛保二年褒美
雲田百姓　三右衛門　五十二歳　寛保二年褒美
道心者　妙林　歳不知　寛保三年褒美
町人　金子清左衛門　歳不知　延享元年褒美
町人　市右衛門　四十二歳　延享元年褒美
雲田百姓又左衛門娘　ゆく　歳不知　延享元年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　同領　阿武郡椿ノ村枝ノ明木村　百姓　基右衛門　二十九歳　妻享和元年寡
孝行者　同領　同所　百姓　松右衛門　二十七歳　同時寡
孝行者　同領　阿武郡椿ノ村枝ノ明木村　百姓　次右衛門　二十五歳　妻享和元年寡
孝行者　同領　阿武郡椿ノ村枝ノ川上村　百姓三左衛門娘　次男　瀧右衛門　二十九歳　同時寡
孝行者　同領　阿武郡福井口村　百姓　みや　四十八歳　妻享和元年寡
孝行者　同領　萩城下呉服町　町人　栗田次右衛門　歳不知　妻享和二年寡
孝行者　同領　萩城下北片河町　町人　鈴川金右衛門　歳不知　妻享和二年寡

孝行者　同領　萩城下呉服町　町人提灯屋　善右衛門　二十八歳　妻享和二年寡
孝行者　同領　萩城下椿屋町　町人河上屋　権右衛門　五十歳　妻享和二年寡
孝行者　同領　萩城下濱崎新町　町人　又右衛門　歳不知　妻享和二年寡
孝行者　同領　萩城下古魚店町　町人　谷村新右衛門　歳不知　妻享和三年寡
孝行者　同領　萩城下北片河町　町人　青木新兵衛　歳不知　妻享和三年寡
孝行者　同領　萩城下南片河町　町人大谷佐兵衛後家　り　人　歳不知　妻享和三年寡
孝行者　同領　萩城下南片河町　町人　河川市郎兵衛　歳不知　妻享和三年寡
孝行者　同領　萩城下春若町　町人傳次左衛門娘　七　川　歳不知　妻享和三年寡

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

奇特者　荻城下春若町　同領
孝行者　荻城下細工町　同領
孝行者　荻城下細工町　同領
孝行者　荻城下下五間町　同領
奇特者　荻城下下五間町　同領
忠義者　荻城下今魚店町　同領
孝行者　荻城下米屋町　同領
孝行者　荻城下東田町　同領

町人与惣
町人　半七　十一歳　延享三年褒美
町人　久次郎　歳不知　延享三年褒美
町人　松谷七右衛門　歳不知　延享三年褒美
町人　大谷源右衛門　三十歳　延享三年褒美
町人　溝上文右衛門　歳不知　延享三年褒美
町人廣沢屋太兵衛下女　あさ　歳不知　延享三年褒美
町人伊兵衛娘　よね　歳不知　延享三年褒美
町人　竹内松之助　歳不知　延享三年褒美

孝行者　荻城下西田町　同領
孝行者　荻城下西田町　同領
孝行者　荻城下御作町　同領
孝行者　荻城下御作町　同領
孝行者　荻城下御作町　同領
奇特者　荻城下椿下町　同領
孝行者　阿武郡椿谷村枝谷川上村　同領
孝行者　阿武郡川島村　同領

町人吉田利兵衛娘　はる　歳不知　延享三年褒美
町人　田中吉左衛門　歳不知　延享三年褒美
町人　角田吉之助　歳不知　延享三年褒美
町人　岩本六右衛門　十八歳　延享三年褒美
町人　吉田幸蔵　歳不知　延享三年褒美
町人　堀源蔵　歳不知　延享三年褒美
百姓与惣兵衛娘　ふや　三十二歳　延享三年褒美
私領百姓　弥九郎　五十六歳　延享三年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　日領　阿武郡三見々村
百姓　文左衛門　壽　延享三年　寅年
孝行者　日領　阿武郡三見々村之内山田村
百姓　く兄　二十七歳　延享三年　寅年
孝行者　日領　厚狭郡山井村
百姓　吉六　年歳　延享三年　寅年
孝行者　日領　萩城下椿町
町人　笠井九右衛門　六十八歳　延享四年　寅年
孝行者　日領　萩城下椿町
百姓　伴右衛門　三十三歳　延享四年　寅年
孝行者　日領　美祢郡伊佐々村
町人　半左衛門娘　よ称　歳不知　寛延二年　寅年
孝行者　日領　萩城下春若町
町人　伊兵衛　歳不知　寛延二年　寅年
孝行者　日領　萩城下西田町
町人　多郎平左衛門　十七歳　寶暦元年　寅年
孝行者　日領　萩城下魚若町

奇特者　日領　萩城下沖許町
町人　小法師先七　歳不知　寶暦元年　寅年
孝行者　日領　萩城下椿町
町人　福井九十郎　十九歳　寶暦元年　寅年
孝行者　日領　阿武郡椿々村
百姓　権六　歳不知　寶暦二年　寅年
孝行者　日領　大津郡益小田村
百姓　市松　四十一歳　寶暦三年　寅年
孝行者　日領　厚狭郡吉田村
百姓田百姓　作兵衛　歳不知　寶暦三年　寅年
孝行者　日領　萩城下油屋町
町人親屋敷　次郎左衛門　十八歳　寶暦四年　寅年
孝行者　日領　阿武郡福井々村
百姓田百姓　与次郎　歳不知　寶暦五年　寅年

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　同領　萩城下下五間町
孝行者　同領　萩城下下五間町
孝行者　同領　萩城下米屋町
孝行者　同領　阿武郡椿々村
孝行者　同領　阿武郡椿々村
孝行者　同領　阿武郡末郷々村
奇特者　同領　厚狭郡松屋村
奇特者　同領　厚狭郡松屋村

町人柳井三左衛門後家　まさ　歳不知　寶暦六年褒美
町人　金子源左衛門　歳不知　寶暦六年褒美
町人　横山蔵右衛門　三十五歳　寶暦六年褒美
当百姓改右衛門妻　ざん　歳不知　寶暦六年褒美
当百姓　檀左源治　歳不知　寶暦六年褒美
百姓　森右衛門　歳不知　寶暦六年褒美
百姓　伴右衛門　四十四歳　寶暦六年褒美
百姓　又左衛門　五十二歳　寶暦六年褒美

奇特者　同領　萩城下南片河町
孝行者　同領　萩城下十五間町
孝行者　同領　萩城下御許町
孝行者　同領　萩城下南片河町
孝行者　同領　萩城下御許町
孝行者　同領　阿武郡椿々村枝々明木村
奇特者　同領　美祢郡秋吉村

町人　末永助左衛門　三十七歳　寶暦七年褒美
町人　大多和源左衛門　三十四歳　寶暦九年褒美
町人　岩谷織右衛門　織屋婦　ざん　四十七歳　寶暦九年褒美
町人　岩谷三郎右衛門　三十二歳　寶暦十年褒美
町人　榮田七左衛門　歳不知　寶暦十年褒美
百姓右衛門妻　かん　四十二歳　寶暦十年褒美
百姓　岩谷右衛門　六十六歳　寶暦十二年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　同領　摩接郡雄生庄村　百姓　せん　歳不知　寶暦十年　褒美

兄重疾者　同領　摩接郡雄生庄村　百姓　庄次郎　二十五歳　寶暦十二年　褒美

孝行者　同領　萩城下東田町　町人　辰吉　二十三歳　安永元年　褒美

孝行者　同領　萩城下唐樋町　町人　津嶋権右衛門　二十五歳　安永七年　褒美

孝行者　同領　萩城下五間町　町人　中村市松　十八歳　天明三年　褒美

孝行者　同領　阿武郡福田村　百姓妻女兵衛妻　弓　二十九歳　天明三年　褒美

孝行者　同領　阿武郡宇多村　百姓　市右衛門　四十六歳　天明四年　褒美

孝行者　同領　美祢郡大田々村　百姓八右衛門娘　も　卑歳　天明四年　褒美

孝行者　同領　大津郡津黄村内掛田村　百姓右兵衛妻　婦　三十歳　天明五年　褒美

孝行者　同領　萩城下春若町　町人　阿武兵右衛門　卑歳　天明六年　褒美

孝行者　同領　阿武郡椿々村字分　百姓　久右衛門　五十二歳　天明六年　褒美

孝行者　同領　萩城下志美須町　町人　内田右兵衛　二十八歳　天明七年　褒美

孝行者　同領　萩城下東田町　町人伝四郎倅　権七　十七歳　天明七年　褒美

孝行者　同領　萩城下椙本町　町人　萩井茂兵衛　二十四歳　天明七年　褒美

孝行者　同領　萩城下椙本町　町人　田村五右衛門　卒九歳　天明七年　褒美

孝行者　同領　萩城下椙本町　町人忰妻妹　そん　三十二歳　天明七年　褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

孝行者　町　萩城下指合町　天明七年　褒美
町人　二十六歳

孝行者　町　萩城下指合町　天明七年　褒美
百姓　甲八歳

孝行者　町　阿武郡椿々村枝々川上村　天明七年　褒美
百姓　五十一歳

孝行者　町　萩城下侍許町　天明八年　褒美
若き後妻　三十四歳

孝行者　町　所　日時　褒美
百姓　三十七歳

孝行者　町　阿武郡椿々村東分　寛政元年　褒美
甲八歳

孝行者　町　阿武郡椿々村東分　寛政元年　褒美
二十二歳

孝行者　町　阿武郡椿々村要分　寛政元年　褒美
百姓　三十八歳

孝行者　町　萩城下笠屋町　寛政二年　褒美
二十七歳

○孝行者　町　萩城下指合町　寛政二年　褒美
百姓

孝行者　町　阿武郡椿々村東分　寛政二年　褒美
百姓

孝行者　町　阿武郡椿々村要分　寛政二年　褒美
百姓　五十七歳

孝行者　町　阿武郡川添村　寛政二年　褒美
百姓　五十四歳

孝行者　町　阿武郡福井々村　寛政二年　褒美
百姓　五十歳

孝行者　町　阿武郡大井々村と田畏ノ村　寛政二年　褒美
百姓　九十五歳

孝行者　町　阿武郡大井々村と田畏ノ村　寛政二年　褒美
百姓　三十三歳

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

奇特者　同領　阿武郡三見々村　卓山田村

孝行者　同領　阿武郡福井々村

孝行者　同領　阿武郡小川村

孝行者　同領　豊浦郡秋田々村　肥中浦

孝行者　同領　萩城下平安古町

孝行者　同領　萩城下西田町

貞節者　同領　萩城下椿東村

百姓　代松　三十二歳　寛政二年褒美

百姓　善六郎　四十歳　寛政二年褒美

百姓　よし　三十六歳　寛政二年褒美

百姓　孫左衛門　三十六歳　寛政二年褒美

百姓　もみ　三十三歳　寛政二年褒美

町人　みの　二十三歳　寛政三年褒美

町人　金子権右衛門　三十九歳　寛政三年褒美

町人前田六蔵後家　よし　三十六歳　寛政三年褒美

孝行者　同領　阿武郡地福村

孝行者　同領　萩城下浜崎町

孝行者　同領　阿武郡椿東村東分

農業出精　同領　阿武郡椿東村枝々村作兼帯

孝行者　同領　阿武郡福井々村

孝行者　同領　阿武郡三見々村

孝行者　同領　萩松本村枝々修営村

孝行者　同領　萩松本秋吉村

百姓又右衛門娘　よし　十九歳　寛政三年褒美

町人　河原林熊槌　十四歳

出田百姓市助娘　まつ　二十三歳　寛政四年褒美

八会場　七十七歳　寛政四年褒美

百姓　次郎左衛門　四十一歳　寛政四年褒美

百姓　平次郎　五十三歳　寛政四年褒美

百姓　与左衛門　三十二歳　寛政四年褒美

百姓　甚左衛門　五十五歳　寛政四年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

孝行者　百姓　日領　摩擦郡吉田村　孫兵衛　三十四歳　寛政四年褒美

孝行者　百姓　日領　摩擦郡小井村　徳右衛門　三十歳　寛政四年褒美

孝行者　百姓　毛利甲斐守領分　豊浦郡田耕之村ト唱ル大百姓村　趣吉　六十七歳　天明七年褒美

孝行者　百姓　日領　豊浦郡角山村　長吉　二十八歳　天明七年褒美

孝行者　百姓　日領　豊浦郡田耕之村ト唱ル大百姓村　九郎兵衛　五十二歳　寛政三年褒美

孝行者　百姓　日領　豊浦郡要地村　六右衛門　六十五歳　寛政四年褒美

孝行者　百姓虎助娘　日領　豊浦郡赤間関村三百日新地　ゆう　二十歳　寛政四年褒美

孝行者　百姓　毛利侯支配領分　豊浦郡小月村　五郎右衛門　二十歳　安永五年褒美

孝行者　百姓　日領　豊浦郡阿内村　喜右衛門　四十歳　天明六年褒美

孝行者　百姓　毛利石見守領分　阿武郡大井之村　伊兵衛　歳不知　享保九年褒美

孝行者　日領　日領所　作之助婢　ふう　歳不知　日時褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者 前田源次郎

前田源次郎は、養乃城下横町の商人孝兵衛の弟なり。
ちまきにうまれつきて、十五年になる
まで、病て床をはなれず。源次郎、常に
志ありて、薬をこのみ、あまねく
もろもろの小児をあはれみ、ちまき
をとき、色々の物を与つゝ、商売の道をおろ
そかにせず、父の為めやすき様にと、数箇の川を
くゝりこしらへ、暑きを防ぎ、寒きを懐ろにあたゝめ
日毎ふうとをあらひ、きよらかに入れ

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

多かりしを此年より次第に減じ
ちゝ小法をもて父を久しきを痛乃ちちうしたるさまも
あく神をもしゝあや抱せうさを頻に甚
て寛政二年七月褒美の事ありて人ほ伯父此行
なりしをもて父を沢乃年うをけるう哀ふ甚
ふるうりのなく申陰の写せ
むしゝかうさを後進くゝ人ほ伯父此行
うもゝもゝも病年ほてゝ被う義ふ書もれしゝをう
乃ちくく貧ふ中みく母ふ
にいもう扱ひゝ事又も
褒義しゝ事ありて父母のまゝといひる歟りのまもを
引しゝ史に貞節をもゝゝ病ふ
ふる乃道ある事を賞しゝて

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝義録巻之三十八

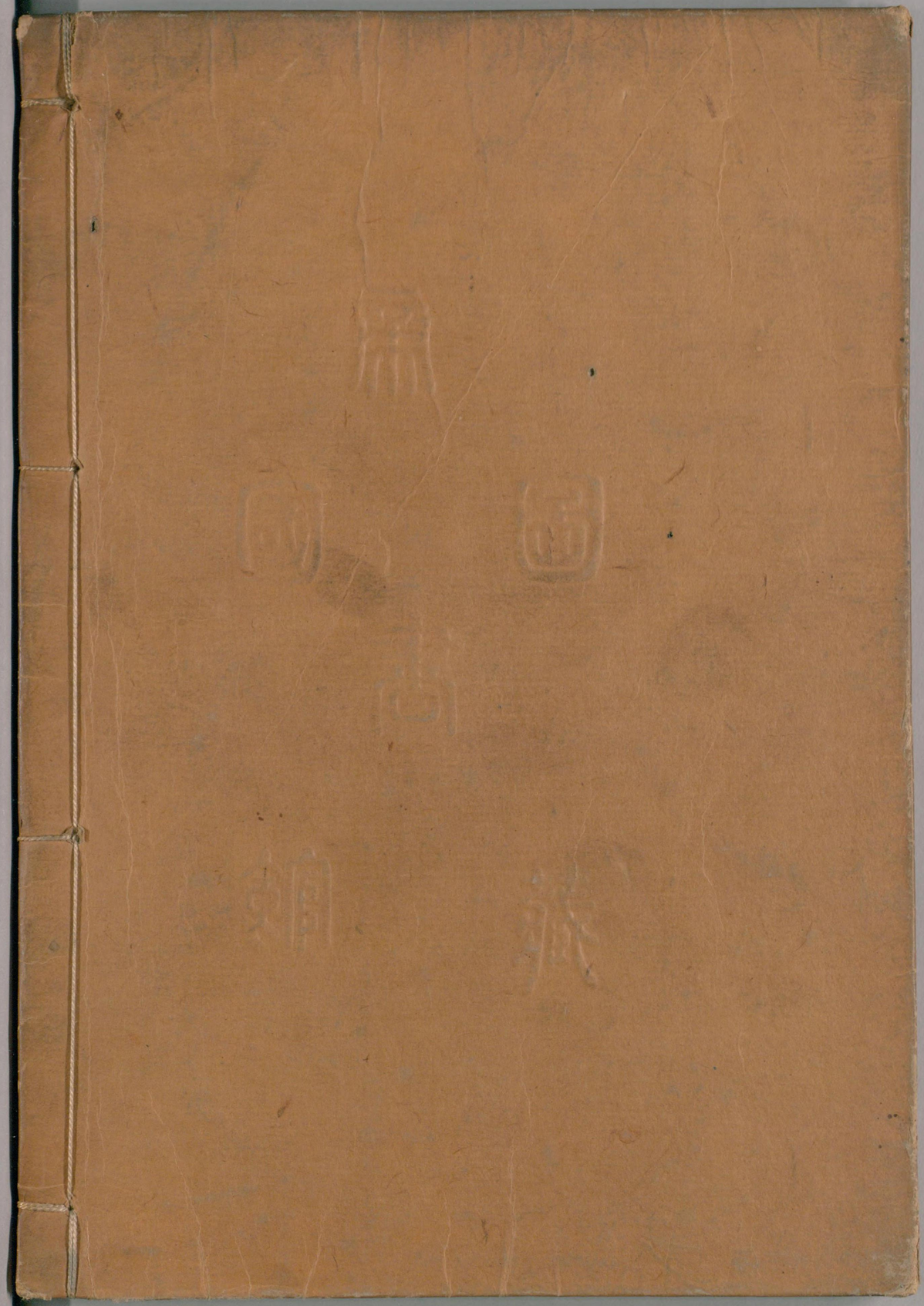
国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

136
56
197

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用